

# 写真で振り返る「甲子園ホテル」

西宮・21日まで 昭和モダンの結婚式29点



甲子園ホテルであった結婚式や披露宴の写真が並ぶ。武庫川女子大学・甲子園会館で

旧「甲子園ホテル」  
として知られる、西宮市戸崎町にある武庫川女子大学の甲子園会館で、昭和初期に完成した会館建物の建築様式や、歴史を紹介する催し「楠松祭」が開かれていた。1930、44年に旧甲子園ホテルであった結婚式・披露宴の様子を伝える写真29点を展示した。写真展などがある。21日まで

甲子園会館は、建築家で、入場無料。甲子園会館は、建築家フランク・ロイド・ライトの弟子、遠藤新（1889～1951）が設計した。打出の小づちの形の装飾や、光天井の障子など、西洋と日本の伝統美を融合させた造りが特徴。65年に武庫川女子大を運営する武庫川学院が譲り受け、現在は建築学科の授業や研究

究、生涯学習の授業が行われる教育施設となっている。

写真展には、食堂内にテーブルが並ぶ華やかな披露宴の模様や、庭やホールで新郎新婦の関係者らが撮影した、集合写真などを紹介。これらを撮影した当時と同じ場所の現在の様子も展示し、見比べることができ。展覧されている同級生の両親の写真を見るため、訪れたという70代の女性は「写真の人たちの豪華な打ち掛けや着物が、モダンな建物とよく合う」と感心していた。

このほか、食事付きの見学会（予約制・要参加費）やコンサートなどもある。大学はホテル時代の写真を研究資料として収集しており、提供者を募っている。問い合わせは甲子園会館庶務課（0798・67・0290）。

【日本未来】